

2023年5月29日

【新刊発売のご案内】

博報堂シニアビジネスフォース流

『未定年図鑑～定年までの生き方コレクション～』

～著：三嶋（原）浩子（博報堂シニアビジネスフォース ディレクター）～

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）のシンクタンクで「100年生活者」発想でシニアビジネスを開発・実施する、博報堂シニアビジネスフォース（代表：梅村太郎）はこのたび、『未定年図鑑～定年までの生き方コレクション～』を出版しましたのでお知らせいたします。

博報堂シニアビジネスフォースは、定年を意識し始める50代を中心とした世代を「未定年」と命名しました。本書では、未定年を幅広く捉え40代～50代をコアターゲットとしています。人生100年時代を生き抜くため、できるだけ早くから定年後を意識してほしいと考えたからです。

本書では「未定年」のロールモデル27名を取材・紹介しています。「未定年」時代にどう働き、どう学んでいるか。迷える「未定年」にとって参考になるエピソードを集めました。

<例>・「早期退職」に大満足！若者と仲良し未定年。（男性・57歳）

- ・理想に向かって「動き続ける」ママさん未定年。（女性・43歳）
- ・「人生スケジュール表」を作る準備派未定年。（男性・53歳）
- ・「過去の自分が助けてくれた」転職の達人未定年。（女性・54歳）

こういった27名の事例を「生き方ジャンル別」に分類。読者自身が「未定年」の方針を生み出せることを目指しています。定年後どう生きるかを考える、そのためのヒントが満載です。

著者は、博報堂シニアビジネスフォースのメンバーで、コピーライターでありながら、国家資格キャリアコンサルタントを取得。固くなりがちなキャリア啓発本とは一線を画し、コピーのスキルを活かした読みやすい一冊。「図鑑」と銘打ったイラストは、生き方を一枚絵で独特のトーンで表現しました。

6月16日（金）には、出版記念イベントを紀伊国屋書店新宿本店にて開催。著者とロールモデルの中のお一人である内多勝康さんとのトーク・セッションをお届けします。



『博報堂シニアビジネスフォース流未定年図鑑 ～定年までの生き方コレクション～』

著者：三嶋（原）浩子

イラスト：中山沙織

仕様：単行本（ソフトカバー） 200ページ

定価：1,980円（本体1,800円＋税）

発行：中央経済社

発売日：2023年5月27日

Amazonリンク：<https://www.amazon.co.jp/dp/4502464813/>

書店発売日：2023年5月27日

目次

- ・はじめに
- ・第1章 「社会人大学院」を生きる未定年 ～なぜ未定年時代に「社会人大学院」なのか～
ジャンルA「未来を変えたい未定年」
ジャンルB「勉強好き未定年」
- ・第2章 「会社生活」を生きる未定年
ジャンルC「迷える未定年」
ジャンルD「会社と別れた未定年」
ジャンルE「会社生活をつなげる未定年」
- ・第3章 キャリアコンサルタントが提案する「未定年」の生き方
- ・第4章 セカンドライフ計画の具体的なヒントを得よう
対談01 幸せなセカンドライフをめざして、未定年期に何を学ぶか。
対談02 介護・福祉の現場で、企業経験者のスキルが生かせるのはなぜか？
- ・おわりに

本書の特徴

1. 未定年時代の「生き方ロールモデル」27名を、イラストによる図鑑形式と、コピーライターの記事で読みやすく紹介

02

ジャンルA「未来を変えたい未定年」
手に職を「太らせる」技術者未定年。
信藤勇一さん（建築士59歳）

「未定年」時代、何かのテーマで先輩者をめざすって、
どうでしょう？

未定年プロフィール

一級建築士でヘリテージマネージャーという文化遺産を保護・活用する資格を持つ。手に職で、もう十分だと思うが、さらに社会人大学院で修士を取ったのはなぜか、は本文で。

すでに持っている資格をアップデート

ヘリテージマネージャーという言葉、聞かれたことはありますか？ 筆者は、大学院の先輩である信藤さんと知り合って初めて教わりました。ヘリテージ(heritage)とは、文化遺産を継承・伝承していくこと。ヘリテージマネージャーとは、文化財建造物を後世に残して活かす協力を行う人で、「歴史的文化遺産活用推進員(ヘリテージマネージャー)」と表記されることもあるようです。ひょうごヘリテージ機構のホームページには、以下のような記述で、ヘリテージマネージャーが紹介されています。

阪神・淡路大震災の教訓から、1996年に文化財保護法が改正され文化財の裾野を広げる登録文化財制度が創設されました。兵庫県ではその制度を支える人材が必要と考え、2001年度に教育委員会と建築士会が連携して「兵庫県ヘリテージマネージャー養成講習会」を開講しました。そのとき、ヘリテージマネージャーとは「地域に眠る歴史的遺産を発見し、保存し、活用し、まろづくりに活かす能力を持った人材」と定義されました。

(引用：ひょうごヘリテージ機構ホームページ 初代代表世話人沢田伸)

つまり勝手に名乗ってはいけないし、ヘリテージマネージャーを名乗るには、都道府県の建築士会等が主催する「ヘリテージマネージャー養成講座」を受講する必要があります。しかも、文化財建造物に関する深い知見や資料作成の能力が必要そうです。信藤さんは、このヘリテージマネージャーの資格を持つ一級建築士で、大手建設会社でビル設計などを手掛ける専門職です。

建築士という手に職を持ってしながら、ヘリテージマネージャーという資格を取る。資格試験はないとは言え、働きながらヘリテージマネージャー養成講座(講義10回、大阪は60時間)を全て受講するのは大変だったと思います。ここまででキャリアプラン的に十分、すでに持っている資格をアップデートしているわけですが、信藤さんはさらに建築士という資格を「太らせる」のです。55歳で筆者と同じ、大阪市立大学大学院都市経営研究科に入学されます。

ジャンルA「未来を変えたい未定年」

8

9



数々の社会課題の間で
「さまよう」千手観音未定年
森幸子さん
(仮名・公務員 52 歳)

興味のジャンルがとんでもなく多い公務員の社会人大学院生。単位は誰よりも多く取り、いつも「レポートが」とあくせくしている。もう少し絞れば良いと思うが、芯から勉強好きだから、これで良いかも。



「人生スケジュール年表」を作る準備派未定年
松木浩司さん
(仮名・調査会社管理職 53 歳)

管理職をそつなくこなしながら、70 歳まで働くための人生スケジュールを緻密に考える。長く働き続けるため、学びに投資する。しかし、奥さんはお金を注ぎ込む夫をどう思っているのか心配。



「人生 100 年にひるんだ」管理職未定年
藤本慎也さん
(仮名・会社管理職 54 歳)

放送局に勤務しながら、社会人大学院で学ぶ。修士課程修了後、博士課程に進学。エリートのに甘んじることに全くなく、人生 100 年への不安が藤本さんをさらなる学びへとかき立てる。



「過去の自分が助けてくれた」
転職の達人未定年
水森良江さん
(仮名・イベントプロデューサー 54 歳)

54 歳女性がみごとに転職に成功した。イベントプロデューサーという華やかな職種ではあるが、そのノウハウは、すべての「未定年」に参考になるはず。ぜひ本文を吸うように読んでいただきたい。



「早期退職」に大満足!
若者と仲良し未定年
佐藤徹さん
(仮名・マルチコネクティブプロデューサー 57 歳)

55 歳で早期退職。スタートアップ企業を支援する会社に籍を置き、若い世代に囲まれて働く日々。「未定年」時代に得た「会社を辞めたら連絡して」という人脈を大切にしたら結果、今に至っている。

2. 「お悩み別索引」を使うと、自分に読者にとって、最適解のロールモデルと対策に出会える

- 「シニアの転職成功例」を知りたいなら・・・
- 「学びが必要」と考えるなら・・・
- 「みんな悩んでるんだ」と安心したいなら・・・
- 「定年後に輝く人」をめざしたいなら・・・
- 「未定年期、何をすれば良いか」分からないなら・・・



おすすめロールモデル



おすすめ情報・対策

出版記念イベント詳細

●日時

2023年6月16日（金）18:30～19:30

●会場

紀伊国屋書店 新宿本店（東京都新宿区新宿3-17-7）

3階アカデミック・ラウンジ

●参加費用

無料。自由入場のため、満席の際は立ち見の可能性をお含みおきください。

●主催

株式会社中央経済社 学術書編集部

●登壇者

- ・著者: 三嶋（原）浩子（博報堂シニアビジネスフォース・ディレクター）



・未定年ロールモデル:

内多 勝康さん（元・NHKアナウンサー、国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー）



1963年東京都生まれ。東京大学教育学部卒業後、アナウンサーとしてNHKに入局。2016年3月に退職し、同年4月より国立成育医療研究センターの医療型短期入所施設「もみじの家」ハウスマネージャーに就任。著書に『「医療的ケア」の必要な子どもたち 第二の人生を歩む元NHKアナウンサーの奮闘記』（ミネルヴァ書房）『53歳の新人—NHKアナウンサーだった僕の転職—』（新潮社）。

三嶋(原)の著書『未定年図鑑』では、未定年におけるロールモデルの一人として紹介されている。

著者プロフィール

三嶋（原）浩子（みしま（はら）・ひろこ）

博報堂 関西支社 CM プラナー/ディレクター/コピーライター/動画ディレクター。

博報堂シニアビジネスフォース ディレクター。

テレビ CM・新聞広告・WEB 動画制作で活躍する一方、高齢化社会において「シニアの人生をクリエイティブする」ため、キャリアコンサルタント（国家資格）を取得。

博報堂シニアビジネスフォース

「100 年生活者」発想でシニアビジネスを開発・実施する博報堂のプロジェクト。

クリエイター・マーケッター・プロデューサーなどさまざまな職種メンバーにより構成され、マーケティングから広告企画制作・プロモーションの実施まで、ワンストップで行う専門部隊。

50 代以上の生活者が人口のマジョリティになる日本において、シニア層こそが主要なビジネスターゲットと考えて、全方位的に捉えることが活動の根幹。リタイア後も 20～30 年生きるのが当たり前の「100 年生活者」を深く掘り下げインサイトを見極め、新しい価値や創造的で実践的なビジネスソリューションを提供している。